# 第１回北陸新幹線（敦賀・新大阪間）小委員会　概要

令和 8 年 11 月 6 日（金）10:00～12:00

中央合同庁舎 3 号館 8 階特別会議室

○　国土交通省鉄道局より、資料１から資料５に基づき、小委員会の設置趣旨及び今後の進め方、これまでの検討経緯等、鉄道プロジェクトの評価手法マニュアルの改訂内容並びに需要予測、投資効果の評価方法について説明した。また、改訂マニュアルに基づいて、個別評価に加え、一体評価を実施する方針を示した。

○　委員からは、事務局が示した方針について特段の異論は示されなかった。一方、主な意見として、以下の指摘があった。

- 人口減少、物価上昇、建設費の上振れ、工期の長期化等の不確実性を考慮する必要があるのではないか。
- 感度分析について、より幅広いケースを設定して検討する必要があるのではないか。
- B/C の数値のみによって判断するのではなく、東海道新幹線の代替経路としてのリダンダンシー、災害時における国土軸としての機能、地域間交流や関係人口の拡大等、貨幣換算が困難な効果も含め、総合的に評価する必要があるのではないか。

○　次回以降、上記指摘を踏まえて整備効果等について引き続き検討するとともに、JR 西日本へのヒアリングを実施し、令和８年中に中間的な整理を行う。その後、令和９年中に小委員会を順次開催し、とりまとめを行う予定。

以上